

# ランピースキン病の発生について

1 1月6日以降、福岡県内の10農場（乳用8農場、乳肉1農場、肉用1農場）、熊本県1農場（乳用）で発生が確認されています

（11月28日現在）

今般のランピースキン病の発生を受け、福岡県では発生農場から半径20km以内に飼養されている牛への**ワクチン接種を11月21日から開始**されました。ワクチン接種した牛に由来する牛肉は、**アメリカ合衆国向け輸出が制限**されています。

ワクチンを接種した牛は・・・

米国向け輸出牛肉取扱施設（＊）への搬入ができません。

＊ 県内では飛騨食肉センター（飛騨ミート農業協同組合連合会）

搬出（売買、市場出荷、と畜場出荷等）の際に福岡県から接種証明書が発行されます。

## 予防・侵入防止対策

- ・吸血昆虫の駆除（殺虫剤・駆虫剤・粘着シートなど）
- ・他の農場等で使用した器具などは持ち込まない、エタノール、次亜塩素酸ナトリウム、逆性石けんなどの消毒剤を使用
- ・注射針、人工授精用器具等の体液（生乳を含む）が付着る物品は1頭ごとに交換して使用
- ・出荷時や毎日の健康観察を入念に行う

## 本病を疑う牛を見つけた場合には

発症牛の隔離、速やかに獣医師、家畜保健衛生所に連絡を

### 東濃家畜保健衛生所

TEL : 0573-26-1111（内394） FAX : 0573-25-7669

休日・夜間に連絡の必要な場合は、**警備室0573-26-1114** に電話し、「家畜保健衛生所に緊急に連絡が必要」とお伝えください。